

根よりあちちりてればよ生の雛の巣にふれせぬ中へ出情すじ
叔業とていひてハ巢の上の雨を怪いとて退け巢とも
ハ葉はふらはし物々入て上よ物と怪いと
おぼふ物は空を暖の
さう引ちるべし
去下餌にして餌立ちかり此時雛の口中の氣とむをとめて
うくえ受て玉へし口中の氣ハ腐きぬうくの氣なり餌立ち
中は中の氣白く年たるも何ふばてくるハ二雀の一名ハ黄虫
とさし餌とすじ二三雀も用われハ口中の氣大く立ち物なり
餌ちふハ上の怪いとて退け見ると一月ハ口は張られバ